

2025年度(令和7年度)

大学院工学研究科
(博士後期課程)

名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学
国際連携エネルギー変換システム専攻

学生募集要項

(第1次募集・第2次募集)

国立大学法人

名古屋工業大学

2025 年度（令和 7 年度）名古屋工業大学大学院工学研究科(博士後期課程)
名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学
国際連携エネルギー変換システム専攻 学生募集要項

目 次

教育理念

国際連携専攻について	1
重要なお知らせ	1
アドミッション・ポリシー	2
エアランゲンニュルンベルク大学（FAU）とは	3
1 募集専攻及び募集人員	4
2 出願資格	5
3 出願期間	6
4 出願手続	6
5 受験票のダウンロード及び印刷	11
6 障害等のある入学志願者との事前相談	11
7 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請	12
8 入学者選抜方法	12
9 試験場	12
10 合格者発表及び入学手続	12
11 入学手続時に必要な経費	13
12 入試情報	13
13 希望指導教員等一覧	15
14 入学の時期	16
15 課程の修了の認定及び学位の授与	16
16 修学支援制度	17
17 安全保障輸出管理について	17
18 問い合わせ先	17
出願資格(6)による出願について	18
出願資格(7)による出願について	19
出願資格(8)による出願について	20
ディプロマ・ポリシー	21
カリキュラム・ポリシー	21

教育理念

名古屋工業大学では、『ものづくり』『ひとづくり』『未来づくり』を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成する。」ことを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

国際連携専攻について

1 海外の大学と共同して教育課程を構成する大学院（国際連携専攻）とは

国内外の複数の大学が連携して教育研究資源を最大限に活用し、一つの大学では提供できない、より高度で革新的な、あるいはより魅力的なプログラムを行うことにより、学生に質や付加価値の高い学習機会を提供し、大学、国、企業・地域が意欲ある優秀な人材を得られるようにすることを目指すものです。そのため複数の大学共同で教育課程を実施し、連名で学位を授与するものです。

2 本共同大学院の主な特徴

(1) 名古屋工業大学（Nagoya Institute of Technology）とエアランゲンニュルンベルク大学（Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg, ドイツ）の連名による学位が授与されます。

なお、学位の名称は、博士（工学）となります。

(2) 名古屋工業大学とエアランゲンニュルンベルク大学の両大学に在籍することになりますが、両大学から研究指導を担当する教員が配置され、幅広い観点で研究を行うこととなります。

(3) 本学で1年間の研究指導を受け、次いでドイツで1年間（少なくとも10か月以上）の研究指導、帰国後、最終的に本学で学位申請し、両大学で組織する学位審査委員会で合格すれば、両大学の連名による学位が授与されます。

(4) ウェブ会議システムを活用して実施する研究推進セミナーにより、一人ひとりの学生に応じた研究指導を3年間行います。

重要なお知らせ

1 志願者は、名古屋工業大学、エアランゲンニュルンベルク大学のいずれかに出願しますが、名古屋工業大学へ出願した志願者は、名古屋工業大学において入学試験を受験することとなります。この場合、入学手続、授業料等の納付、奨学金の申請等に関して、名古屋工業大学で取り扱います。

2 本国際連携エネルギー変換システム専攻において、名古屋工業大学とエアランゲンニュルンベルク大学を併願することはできません。

3 本選抜において、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）で B2 レベル程度の英語能力を求めています。

（対応する公的な英語検定試験での目安例）

○ TOEFL - iBT : 72 点 ○ IELTS (アカデミック) : 5.5 点

○ TOEIC L&R : 785 点 ○ 実用英語技能検定 : 準1 級

4 入学の時期は、エアランゲンニュルンベルク大学にて選抜された場合は 2025 年 1 月他、名古屋工業大学にて選抜された場合は 2025 年 4 月となります。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学院博士後期課程

教育理念に従って人材を育成するため次を満たす学生を広く国内外から受け入れる。

大学院博士後期課程で学ぶ学生は修士の能力と工学の専門知識、技術革新への使命感をもち、本学の理念をよく理解し、工学の使命を果たす意欲をもつ人である。

- 1 修士課程を修了するか、あるいはこれと同等の能力をもつ人
- 2 英語等によって学術論文を読解・叙述し、様々な研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力をもつ人
- 3 専門分野の高度な専門・技術と、広い範囲の工学的知識をもち、これを活用して適切なアプローチを計画し、課題を解決する能力をもつ人
- 4 エネルギー変換システム技術を基に、国際的な舞台において未来の工学の創造を先導することに強い意欲をもつ人

入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は、口述試験、面接及び提出書類により総合して選抜します。

口述試験では、修士論文についてプレゼンテーションを行い、志望する専門分野についての高度な専門知識や英語能力を測るとともに、面接では研究意欲、適性、人物を問います。

エアランゲンニュルンベルク大学（FAU）とは

エアランゲンニュルンベルク大学（正式名称：Friedrich-Alexander-Universität Erlangen-Nürnberg、以下「FAU」という。）は1743年に設立され、バイエルン州第3の規模を誇るドイツを代表する名門大学の一つである。工学部（Faculty of Engineering）の設置は1966年と比較的新しく、産学協同など他機関との連携が活発で、2019年には「イノベーション・ランキング（ロイター）」で世界14位、国内1位にランキングされた。工学部の学生数（学部・修士）は約1万人で、女性および国際学生比率はともに約25%となっており、博士授与者は190名（2021年）である。また、「THE 世界大学ランキング 2022年」で世界197位、「上海ランキング」分野別では「エネルギー科学&工学」が世界40位として評価されている。同大学は国際化を強く推進しており、世界中に500を超える提携校を持ち、日本の文化・歴史を学ぶ日本学科も設置されている。また、マックスプランク研究所、フラウンホーファー研究所などがキャンパス傍にあり、基礎と応用の両面で連携（アン-インスティテュート）が強く、Siemens社をはじめ産業界との繋がりも強い。

本学とFAUは、2009年の部局間交流協定、2011年の大学間交流協定（MOU）締結以降、長年にわたって交流を継続しており、これまでの延べ派遣数は教職員163名・学生116名、受入数は教職員44名・学生21名（2022年9月現在）を数え、活発な交流と共同研究を続けている。この間、2013年に本学のヨーロッパ事務所を同大学内に開設（2021年にFAU連携事務所に改称）し、両大学間の連携体制を強化するとともに、日本学術振興会「日独共同大学院プログラム」の採択を受け、2019年に博士後期課程に係る共同研究指導プログラム「日独共同エネルギー変換システムプログラム」を本学内に開設し、両大学間の教育連携・研究交流を加速させている。加えて、EU エラスムス・プラス協定に基づき、両大学の学生・教職員の相互派遣が2022年から開始され、全学的に幅広い教育の機会が提供可能となっている。

2025 年度（令和 7 年度）名古屋工業大学大学院工学研究科(博士後期課程)
名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学
国際連携エネルギー変換システム専攻 学生募集要項

名古屋工業大学大学院工学研究科（博士後期課程）名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学国際連携エネルギー変換システム専攻の学生のうち、名古屋工業大学で教育・研究を開始するものを次のとおり募集します。

1 募集専攻及び募集人員

【第 1 次募集】

募集専攻	募集人員	
	名古屋工業大学	エアランゲン ニュルンベルク大学
名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学 国際連携エネルギー変換システム専攻	2名	2名

【第 2 次募集】

募集専攻	募集人員	
	名古屋工業大学	エアランゲン ニュルンベルク大学
名古屋工業大学・エアランゲンニュルンベルク大学 国際連携エネルギー変換システム専攻	若干名	若干名

注：この募集とは別に定める以下の募集要項のうち、同一時期に募集する専攻との併願はできません。

- 2025 年度（令和 7 年度）名古屋工業大学大学院工学研究科（博士後期課程）学生募集要項（第 1 次募集・第 2 次募集）
- 2025 年度（令和 7 年度）名古屋工業大学大学院工学研究科・名古屋市立大学大学院薬学研究科 共同ナノメディシン科学専攻（博士後期課程）学生募集要項（第 1 次募集・第 2 次募集）
- 2024 年度（令和 6 年度）名古屋工業大学大学院工学研究科・名古屋市立大学大学院薬学研究科共同ナノメディシン科学専攻 10 月入学（博士後期課程）学生募集要項
- 2025 年度（令和 7 年度）大学院工学研究科（博士後期課程）名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻学生募集要項（第 1 次募集・第 2 次募集）
- 2024 年度（令和 6 年度）大学院工学研究科（博士後期課程）名古屋工業大学・ウーロンゴン大学国際連携情報学専攻 10 月入学学生募集要項

2 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び 2025 年 3 月 31 日までに修士の学位又は専門職学位を取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を 2025 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を 2025 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位又は専門職学位に相当する学位を 2025 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び修士の学位に相当する学位を 2025 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (6) 外国の学校、第四号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
 - ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの
- (8) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの

注 1：出願資格（6）により出願する者は、18 ページの「出願資格（6）による出願について」を参照してください。

注 2：出願資格（7）により出願する者は、19 ページの「出願資格（7）による出願について」を参照してください。

注 3：出願資格（8）により出願する者は、20 ページの「出願資格（8）による出願について」を参照してください。

3 出願期間

(1) 第1次募集

①インターネット出願登録期間

2024年7月9日(火) 9:00～7月19日(金) 15:00

②出願書類受理期間

2024年7月16日(火)～7月19日(金) 【19日(金) 16時必着】

(2) 第2次募集

①インターネット出願登録期間

2025年1月14日(火) 9:00～1月24日(金) 15:00

②出願書類受理期間

2025年1月21日(火)～1月24日(金) 【24日(金) 16時必着】

注1：インターネットを利用して出願情報の登録（システムへの入力）を行った後に出願書類を持参又は郵送により提出してください。詳細は「4 出願手続」で確認してください。

注2：出願に当たっては、あらかじめ指導を希望する教員と研究内容や出願について相談してください。また、外国人については指導を希望する教員に、以下の URL からダウンロードした履歴書を第1募集の場合は2024年6月28日(金)までに、第2次募集の場合は2024年12月25日(水)までに提出してください。

URL : <https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>

4 出願手続

入学志願者は、次の(1)～(4)を十分確認のうえ、手続を行ってください。

(1) 【インターネット出願の流れ】

①入試制度の確認	本学ホームページから「募集要項」をダウンロードし、志願する専攻の出願資格・出願期間を確認します。
②出願情報の登録	インターネットに接続しているパソコン等から、画面の指示に従って登録内容を入力します。
③出願情報の確認	登録した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できます。
④支払い方法の選択	検定料の支払い方法を選択します。 ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・銀行 ATM(ペイジー) ・ネットバンキング 注：2025年3月に本学博士前期課程を修了する見込みの者の検定料は不要です。
⑤検定料の支払い	選択した支払い方法に従って検定料 30,000 円（別途、払込手数料 990 円）の支払いが必要となります。 注：試験成績の開示を希望する場合は、別途 800 円の支払いが必要です。

⑥出願登録内容の印刷	出願確認票等を印刷します。
⑦出願書類の提出	⑥の出願登録内容の印刷物等を、9ページの「(3)出願書類」に記載のとおり名古屋工業大学へ提出し、出願完了

注1：インターネット出願情報の登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に9ページの「(3)出願書類」に記載されている、出願確認票等を提出することで完了します。

注2：出願情報の登録中に次の操作を行った場合、又は、30分間次のページに進まなかった場合には、始めからやり直す必要がありますので、注意してください。

- ・出願登録完了前にブラウザを閉じた場合
- ・前の画面に戻る際、ブラウザの「戻る」ボタンを使用した場合

注3：検定料の支払い方法、よくある質問など詳細については、下記【インターネット出願登録サイト】を確認してください。

注4：入学試験前1年以内に大規模災害に遭った者は、申請により検定料が免除される場合があります。対象は災害救助法適用地域において被災し、住宅家屋が全壊、大規模壊、半壊又は流失した者、若しくは家計支持者が死亡又は行方不明となった者です。

詳細については、本学ホームページ

(<https://www.nitech.ac.jp/examination/sokuhou/>)

を確認し、必要書類を提出してください。

【インターネット出願登録の手順案内】

本学ホームページ>入試案内>大学院入試>募集要項・資料請求

【インターネット出願登録サイト】

本学ホームページ>入試案内>インターネット出願>インターネット出願登録サイト

注5：インターネット出願情報の登録の際のパソコン推奨環境及びモバイル端末推奨環境は次のとおりです。

①パソコン推奨環境

ブラウザ

Windows 環境の場合	Macintosh 環境の場合
Google Chrome Microsoft Edge	Safari Google Chrome (MacOS 10.6以降)

PDF 閲覧ソフト

Windows 環境の場合	Macintosh 環境の場合
Adobe Acrobat Reader DC	Adobe Acrobat Reader DC

②モバイル端末推奨環境

下記は推奨環境ですが、お使いの環境によっては一部機能が動作しないことがあります。
その場合はパソコンを使用してください。

OS

Android 環境の場合	iOS 環境の場合
Android 10.X.X 以降	iOS 14.X.X 以降
Android Chrome	Safari

(2) インターネット出願情報の登録及び検定料の支払いについて

① インターネット出願情報の登録及び検定料の支払手順は、別ファイル「インターネット出願登録の手順案内」のとおりです。

② 出願情報の登録を開始する前に準備しておくデータ等

ア 志望理由書等

出願情報の登録システムで作成する書類の他に「(3)出願書類」の「その他必要書類」に記載されている、志望理由書等を出願期間内に提出する必要がありますので、遅れないように準備してください。

イ 本人の顔写真データ

正面、上半身、無帽のもので出願前3か月以内に撮影した写真の画像データを準備しておいてください。システムに他の情報とともに登録します。

ウ 電子メールアドレス

電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。(この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。)

エ プリンター、印刷用紙

A4サイズの用紙が印刷できるプリンタ(モノクロ、カラーどちらでも可)が必要です。印刷用紙は普通紙で構いません。(出願情報の登録内容を印刷するために使用します。)

③ インターネットが利用できない場合

自宅や在籍する学校・大学等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、17ページ「18 問い合わせ先」まで相談してください。

注：インターネット出願登録後、9ページ「(3)出願書類」の提出書類を提出することで、出願手続完了となります。6ページ「3 出願期間」の出願期間内に提出書類の提出がない場合、出願未完了(登録データは無効)となり、受験ができませんので、注意してください。

(3) 出願書類

8 ページ(2)のインターネット出願情報の登録後、次の書類を取りそろえ、所定の期日までに本学入試課に提出してください。

郵送出願する場合は、市販の封筒（角形 2 号、縦 33cm×横 24cm）を用い、封筒表面に下表の②宛名ラベルを貼り付け、**書留速達で郵送**してください。

なお、海外から出願する場合は、入試課へ問い合わせてください。

内容の印刷物	① 出願確認票 (提出用)	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	②宛名ラベル	インターネット出願登録後、印刷したものを出願書類提出用封筒に貼り付けてください。 持参出願する場合は、宛名ラベルを印刷して持参してください。 (封筒に貼り付ける必要はありません。)
その他 必要 書類	③志望理由書	「専攻の志望理由」及び「大学院入学後、研究したいテーマ・内容」を英語で記入してください。志望理由書は、本学HP (https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html) からダウンロードして作成してください。
	④成績証明書 (大学院) (コピー不可)	出身大学院が作成した博士前期課程又は修士課程の成績証明書を提出してください。 日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。 注) 中国の教育機関出身者は下記の注意事項を参照してください。
	⑤成績証明書 (学部) (コピー不可)	出身大学が作成した成績証明書を提出してください。 日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。 注) 中国の教育機関出身者は下記の注意事項を参照してください。
	⑥学位取得（見込）証明書 (修了（見込）証明書) (コピー不可)	出身大学院が作成したものを提出してください。 日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。 注) 中国の教育機関出身者は下記の注意事項を参照してください。
	⑦修士論文の写し	修士を持っている者は、修士論文の写しを提出してください。
	⑧研究経過の概要	これまでの研究経過の概要（英語で 1,000 語程度）を提出してください。研究経過の概要の様式は、本学HP (https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html) からダウンロードして作成してください。

⑨著書，学術論文，学術報告，特許，実用新案等の写し	出願資格(7)又は(8)に該当する者で左記のものがあれば提出してください。
⑩住民票の写し又は在留カードの両面コピー	外国人は，在留資格及び在留期間が記載された住民票の写し又は在留カードの両面コピーを提出してください。在留資格を有しない者は，パスポートの写しを提出してください。
⑪類型該当性の自己申告書	すべての志願者は，「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの確認を行うため，類型該当性の自己申告書について，記載および署名を行い提出する必要があります。様式は，本学HP (https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html) からダウンロードして作成してください。

注：入学資格審査のために提出した書類については，出願時に再提出する必要はありません。

<中国の教育機関出身者の証明書について>

④成績証明書（大学院），⑤成績証明書（学部）及び⑥学位取得証明書（修了証明書）

「中国高等教育学生信息网（CHSI）」(<https://www.chsi.com.cn/>) が発行する成績認証報告書（英語版），学歴認証報告書（英語版）及び学位（修士）の認証書（英語版）を，募集要項に記された出願期間までに CHSI から名古屋工業大学入試課（nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp）に直接送信されるように手続きしてください。

上記④，⑤及び⑥において，この手続き以外の認証報告書は受理しません。

また，出願時に当該教育機関を卒業していない場合は，④成績証明書（大学院）についてはその時点での成績証明書を，⑥学位取得証明書（修了証明書）については修了見込であることが分かる大学発行の証明書を提出してください。

なお，出願期間内に到着しなかった場合は，受験できませんので，余裕をもって申請してください。

(4) 注意事項

- ① 各証明書については，英語以外で書かれたものは，英語の訳文を添付してください。
- ② 出願書類に不備がある場合は，受理しません。
- ③ インターネット出願登録後，出願事項の変更は認めません。ただし，住所・電話番号等の変更が生じた場合は，17 ページ「18 問い合わせ先」まで連絡してください。
- ④ 提出された出願書類は，返還しません。
- ⑤ 既納の検定料及び成績開示手数料は，次のいずれかに該当する場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。
 - ア 支払ったが，出願書類を郵送しなかった場合

注：インターネット出願登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に出願書類を郵送することで完了します。

イ 支払ったが、出願書類の不備により出願が受理されなかった場合

ウ 誤って二重に支払った場合

⑥ 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

⑦ 本学入学者選抜に用いた個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて、次のとおり取り扱います。

ア 入学者選抜に用いた個人情報については、今後の入学者選抜に係る調査・研究のために利用します。なお同調査・研究のため守秘義務を課した業者にその業務の一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。

イ 合格者の氏名・住所等の個人情報は、教科書販売、賃貸住宅に関する事前案内送付等のために利用します。なお、この業務については守秘義務を課した業者に委託することがあります。この場合、当該業者に対して業務実施の上で必要となる範囲内で個人情報を提供します。

ウ 入学者の個人情報は学籍等の教務関係、修学指導関係及び学生支援関係の業務に利用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。

5 受験票のダウンロード及び印刷

受験票は、次に示す日からダウンロード及び印刷が可能となります。

インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロード及び印刷し、試験当日持参してください。

【第1次募集】2024年7月24日(水)から

【第2次募集】2025年1月27日(月)から

6 障害等のある入学志願者との事前相談

本学大学院に入学を志願する者で、学校教育法施行令第22条の3に定める障害のあるもの又はその他の障害があるもののうち、受験上及び修学上の配慮を必要とするものは、出願の前に、下記により至急電話により相談してください。

(1) 相談の時期及び方法

【第1次募集】2024年6月14日(金)まで

【第2次募集】2024年12月12日(木)まで

上記の期限までに相談する内容を電話で連絡してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(2) 連絡先

17ページの「18 問い合わせ先」をお願いします。

7 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請

受験時に来日する際、国によっては査証（ビザ）が必要になりますので、詳しくは、自国の日本大使館・領事館に確認してください。

本学を受験するために「短期滞在ビザ」を申請する場合、自己の責任で必要な条件を揃えて手続きを行ってください（本学が「招へい人」、「身元保証人」になることはできません）。

8 入学者選抜方法

入学者の選抜は、口述試験、面接、修士論文等の審査、成績証明書を総合して判定します。

(1) 入学者選抜

個別に、次の事項について審査します。

① 口述試験

提出された修士論文等（10 ページ、4(3)の⑨、⑩又は⑪）について、英語でプレゼンテーションを行い、研究内容及び専門知識について質問します。

詳細については、出願書類を受理後にお知らせします。

② 面接（英語による）

研究意欲、人物等

(2) 選考時期

【第1次募集】2024年8月28日(水)

【第2次募集】2025年1月29日(水)

9 試験場

名古屋工業大学（但し、通信機器を用いた遠隔での受験を認めることがあります。）

詳細については、出願書類を受理後にお知らせします。

10 合格者発表及び入学手続

(1) 次の日時に、本学のホームページ (<https://www.nitech.ac.jp/>) 上に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

【第1次募集】2024年9月13日(金) 10:00

【第2次募集】2025年2月12日(水) 13:00

なお、電話による問い合わせには一切応じません。

また受験票は入学手続時に必要なため、それまで必ず保管してください。

(2) 合格者（又は代理人）は、次の日時に入学手続を行ってください。入学手続日時までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

なお、2025年2月上旬に送付する「入学手続要領」に基づき、郵送による入学手続を認めます。入学手続に必要な書類等は「入学手続要領」に同封します。

入学手続日時	入学手続会場
--------	--------

2025年3月10日(月)9:00～16:00	名古屋工業大学
-------------------------	---------

11 入学手続き時に必要な経費

入学料	282,000円(予定額)		
授業料 (入学後に納入)	年額 535,800円 (予定額)	{ 前期分 267,900円 後期分 267,900円	

注1：2025年3月に本学博士前期課程を修了した者の入学料は不要です。

2：入学料及び授業料については、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、新入学料及び新授業料が適用されます。

3：授業料は、希望により前期分を納入の際に後期分も併せて納入できる制度があります。

4：授業料は、2025年4月1日(火)から5月30日(金)までに納入してください。

5：既納の入学料は、返還しません。

6：入学料及び授業料については、徴収猶予又は免除する制度があります。

12 入試情報

2025年度(令和7年度)年大学院博士後期課程に係る入試情報は、次の内容を開示します。

(1) 出願状況等

志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を本学ホームページで提供します。

(2) 試験成績

① 受験者本人の申請に基づき、次の事項を開示します。

総合評定(A, B, C)

ただし、入学者選抜において、欠席により選抜の対象外となった場合は、開示されません。

② 申請方法等

ア 申請方法

試験成績の開示を希望する志願者は、インターネット出願登録の際に「試験成績開示の希望の有無」欄で「希望する」を必ず選択してください。出願後のメール、電話等による個別の開示請求は受け付けません。

「希望する」を選択した場合、1回の出願につき開示請求手数料800円が別途必要です。検定料と併せて支払ってください。

イ 開示方法及び時期

【第1次募集】2024年10月1日(火)から11月29日(金)まで閲覧可能です。

【第2次募集】2025年4月1日(火)から4月25日(金)まで閲覧可能です。

- 注1 閲覧するには、「氏名」・「受験番号」・Web 出願登録時の「整理番号」が必要です。開示時期は出願からかなり期間が空くので、受験番号及び整理番号の管理には注意してください。
- 注2 万が一、整理番号がわからなくなった場合には、登録したメールアドレスあてに通知を受けることができます。必ず開示時期まで変更しないメールアドレスを登録してください。
- 注3 「受験番号がわからない」、「整理番号がわからず、登録したメールアドレスも使用できない」などの問い合わせには応じません。

ウ 閲覧方法

本学 Web サイトの入試案内のページから個人成績開示システムへ進んでください。「氏名」・「受験番号」・Web 出願登録時の「整理番号」を入力すると閲覧できます。

13 希望指導教員等一覧

希望する教員を決めるにあたっては、以下の表を参照し、名古屋工業大学、エアランゲンニュルンベルク大学、それぞれより1名ずつ記入してください。なお、エアランゲンニュルンベルク大学の教員に関しては、名古屋工業大学側の教員と相談の上、決定し、記入してください。

名古屋工業大学

職名	氏名	現在の主要研究テーマ
教授	川崎 晋司 (KAWASAKI, Shinji)	1 フラーレンやカーボンナノチューブなどのナノ炭素材料の機能化、構造物性 2 ナノ炭素複合体の電池・光触媒への応用
教授	羽田 政明 (HANEDA, Masaaki)	1 エネルギー変換のための触媒材料の合成 2 機能性材料の表面化学解析
教授	早川 知克 (HAYAKAWA, Tomokatsu)	1 光機能性セラミックス材料の創成と評価・モデリング 2 光機能性ガラス材料の創成と評価・モデリング 3 金属ナノ結晶の合成とプラズモニクスへの展開
教授	尾形 修司 (OGATA, Shuji)	1 エネルギー関連材料の原子論的モデリング 2 マルチスケールシミュレーション法の開発 3 材料内での物理化学過程に関するシミュレーション
教授	林 好一 (HAYASHI, Koichi)	1 量子ビームを用いた材料機能性サイトのイメージング 2 物質の相転移・格子ダイナミクスに関する研究 3 機能性ガラスの元素選択的構造解析
教授	加藤 正史 (KATO, Masashi)	1 省エネルギー半導体材料の評価手法開発 2 省エネルギー半導体デバイス・プロセスの開発 3 半導体を用いたエネルギー変換デバイスの開発
准教授	安在 大祐 (ANZAI, Daisuke)	1 生体情報伝送における通信方式に関する研究 2 生体通信の適応信号処理に関する研究 3 無線通信端末の位置推定に関する研究
准教授	関 健太 (SEKI, Kenta)	1 CAE を活用したメカトロニクスシステムの設計と制御 2 圧電素子を用いた高精度位置・力制御 3 フルードパワーシステムの制御

職名	氏名	現在の主要研究テーマ
Privatdozent	Fey, Tobias	1 多孔質セラミックス 2 付加製造技術
Professor	Webber, Kyle Grant	1 機能性セラミックス 2 無鉛強誘電体
Professor	Brabec, Christoph J.	1 半導体 2 エネルギー素子 3 太陽電池
Professor	Fischer, Georg	1 通信用エレクトロニクス 2 高出力アンプアーキテクチャ 3 医療エレクトロニクス
Professor	Heiss, Wolfgang	1 半導体材料プロセッシング 2 無機有機ハイブリッドペロブスカイトの成長
Professor	Meyer, Bernd	1 分子動力学
Professor	Steinmann, Paul	1 連続体力学
Professor	Wellmann, Peter	1 結晶成長 2 ワイドギャップ半導体の気相成長 3 薄膜太陽電池材料
Professor	Mergheim, Julia	1 連続体力学 2 有限要素法

14 入学の時期

2025年4月

15 課程の修了の認定及び学位の授与

原則として本課程に3年以上在学し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には、名古屋工業大学とエアランゲンニュルンベルク大学の連名による下記の学位が授与されます。

なお、本専攻では、連携先大学に1年間（少なくとも10か月以上）留学することが必須の要件となります。

学位の名称	専攻分野の名称
博士	工学

16 修学支援制度

本学では経済的理由により修学が困難な学生に対し、学資の支援を行い学業に専念できるよう奨学金制度等を用意しています。詳細は以下のURLより確認してください。

<https://www.nitech.ac.jp/campus/support/index.html>

17 安全保障輸出管理について

名古屋工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

また、2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、本学への出願者全員を対象に、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となりました。さらに、入学手続き時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」

名古屋工業大学規則集 <https://kisoku.web.nitech.ac.jp/index.php> より

第4編 研究系>国立大学法人名古屋工業大学安全保障輸出管理規程

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

18 問い合わせ先

この学生募集要項に関する照会は、Eメール又は電話等で行ってください。

〒466-8555 名古屋市昭和区^{ごきそちょう}御器所町
名古屋工業大学 入試課
電話 (052) 735 - 5083
FAX (052) 735 - 5084
Eメール ni_t.nyushi@adm.nitech.ac.jp

出願資格(6)による出願について

- 1 出願資格(6)に定める「大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者」は「博士論文研究基礎力審査」に相当する審査に合格した者です。
「博士論文研究基礎力審査」とは次の(1)及び(2)の試験及び審査をいいます。
 - (1) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養についての試験
 - (2) 博士論文にかかる研究を主体的に遂行するために必要な能力についての審査
- 2 出願資格(6)により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行います。
- 3 前記2の審査を受ける者は、至急入試課に電話により連絡の上、9ページの「4(3)出願書類」に示す④、⑩に加え、次に示す書類を入試課に提出してください。
【第1次募集】2024年5月13日(月)16:00まで
【第2次募集】2024年11月8日(金)16:00まで
※電話連絡先：(052) 735 - 5083
 - (1) 入学資格審査申請書（必ず英語で記入すること）
 - (2) 志望理由書（必ず英語で記入すること）
 - (3) 博士論文研究基礎力審査に相当する審査に合格したことの証明
 - (4) 当該審査の合格の基準
 - (5) 当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料
 - (6) 当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。
上記(2)の志望理由書の様式は、本学HP
(<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。
- 4 審査の結果は、本人に通知します。
【第1次募集】2024年6月24日(月)まで
【第2次募集】2025年1月6日(月)まで
- 5 出願資格を認められた者には、審査結果通知の際に出願手続の詳細を連絡します。
- 6 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

出願資格(7)による出願について

- 1 出願資格(7)に定める「文部科学大臣の指定した者」は、次の①及び③又は、②及び③の要件を満たす者です。
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学研究所等において、2年以上研究に従事した者
 - ③ 著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許、実用新案等において修士学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者
- 2 出願資格(7)により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行います。
- 3 前記2の審査を受ける者は、至急入試課に電話により連絡の上、10ページの「4(3)出願書類」に示す⑩、⑪に加え、次に示す書類を入試課に提出してください。
 - 【第1次募集】2024年5月13日(月)16:00まで
 - 【第2次募集】2024年11月8日(金)16:00まで※電話連絡先：(052) 735 - 5083
 - (1) 入学資格審査申請書（必ず英語で記入すること）
 - (2) 志望理由書（必ず英語で記入すること）
 - (3) 学部の成績証明書
 - (4) 学部の卒業証明書注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。
上記(2)の志望理由書の様式は、本学HP
(<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。
- 4 審査の結果は、本人に通知します。
 - 【第1次募集】2024年6月24日(月)まで
 - 【第2次募集】2025年1月6日(月)まで
- 5 出願資格を認められた者には、審査結果通知の際に出願手続の詳細を連絡します。
- 6 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

出願資格(8)による出願について

- 1 出願資格(8)に示す「本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2025年3月31日までに24歳に達するもの」の範囲は、①又は②の要件を満たす者です。
 - ① 大学を卒業した後、科学・技術関係分野で2年以上の業務経験を有し、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許などにおいて修士学位論文と同等以上の価値があると認められる業績を有する者
 - ② 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者及びその他教育施設の修了者等で、個別の学習歴や実務経験・国際的活動経験等の実務を有する者
- 2 出願資格(8)により出願する者については、名古屋工業大学大学院工学研究科において入学資格審査を行います。
- 3 前記により審査を受ける者は、至急入試課に電話により連絡の上、10ページの「4(3)出願書類」に示す⑩、⑪に加え、次に示す書類を入試課に提出してください。

【第1次募集】2024年5月13日(月)16:00まで
【第2次募集】2024年11月8日(金)16:00まで
※電話連絡先：(052) 735 - 5083

上記1-①により審査を受ける者

- (1) 入学資格審査申請書（必ず英語で記入すること）
- (2) 志望理由書（必ず英語で記入すること）
- (3) 学部の成績証明書
- (4) 学部の卒業証明書

注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。

上記(2)の志望理由書の様式は、本学HP

(<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。

上記1-②により審査を受ける者

- (1) 入学資格審査申請書（必ず英語で記入すること）
- (2) 志望理由書（必ず英語で記入すること）
- (3) 最終学校等の成績証明書
- (4) 最終学歴の卒業証明書又は修了証明書
- (5) 出身学校の学校概要・カリキュラム等教育課程が明らかになる資料（英文）

注) 上記(1)の入学資格審査申請書については入試課へ問い合わせてください。

上記(2)の志望理由書の様式は、本学HP

(<https://www.nitech.ac.jp/examination/in/request.html>) からダウンロードして作成してください。

- 4 審査の結果は、本人へ通知します。

【第1次募集】2024年6月24日(月)まで
【第2次募集】2025年1月6日(月)まで
- 5 出願資格を認められた者には、審査結果通知の際に出願手続の詳細を連絡します。
- 6 審査等書類の提出期限に遅れた場合は、審査等書類は受理しません。

ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

大学院博士後期課程

本専攻を修了する学生は次の能力を修得する必要がある。

- 1 国際社会の課題を技術的観点から理解し、それに対する解決策を考察することで、産業社会の将来像を展望できる能力
- 2 エネルギー変換システム分野に係る深い専門知識とカーボンニュートラル社会の実現に向けた技術に関する幅広い関心・洞察力
- 3 高い独創性と強い研究推進能力によってイノベーションを牽引する能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

大学院博士後期課程

本専攻は、エネルギー変換システムに係る関連分野における優れて高度な専門知識及び能力を有し、国際社会における価値観の変容や科学技術の進歩など様々な変化を柔軟に受け入れてその先を見通し、自己の将来像を踏まえて技術者・研究者の視点で本質的な課題を見出し、新たな価値を創造して協奏的に社会を変革する人材を育成する。そのため、次の3項目を基本ポリシー（カリキュラム・ポリシー）とする。

- 1 国際社会の諸課題について学び、技術的・産業的観点から理解・考察する能力を身につける
- 2 エネルギー変換システム分野の優れて高度な知識・技術を修得するとともに、国内外の先端的・実用的研究プロジェクト及び他者との専門的議論を通じて、幅広い関心・洞察力を涵養する
- 3 エネルギー変換システム分野に係る知識や技術、課題に対する適切なアプローチの発見など、独創的で有用な研究を推進するために必要な能力を、研究・技術開発の実践を通じて身につける

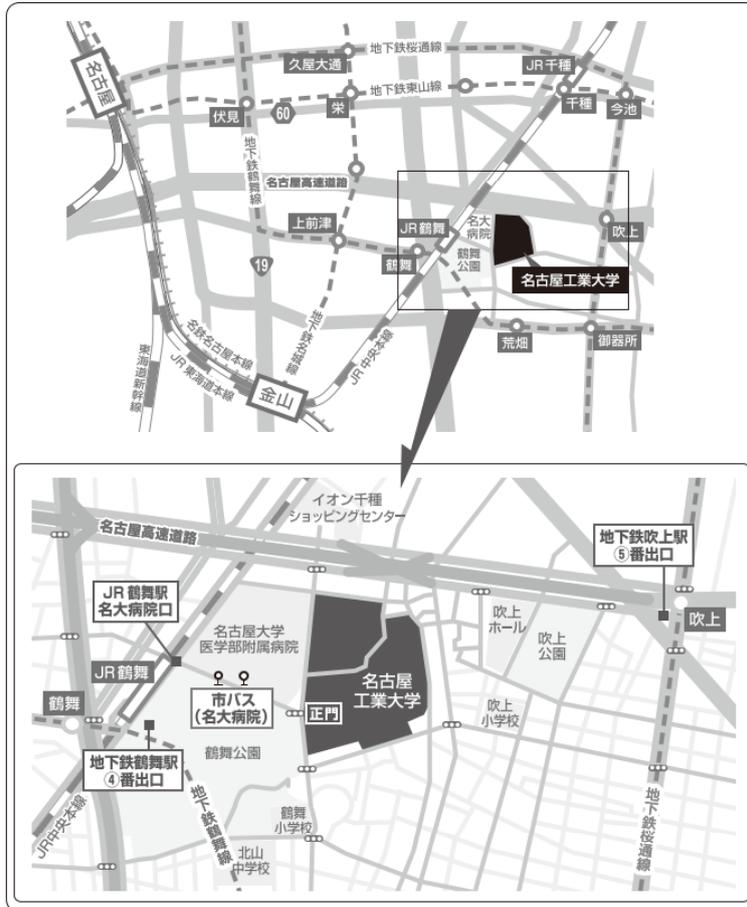
なお、学修成果の評価は、ルーブリック（学習到達度を示す評価基準表）によって達成度を評価し、カリキュラム・ポリシーが定める教育が与えられたこと、その結果ディプロマ・ポリシーが定める能力を身につけたことを確認します。博士論文の研究成果に対しては、審査基準及び審査方法を明示し、それに基づき研究成果の審査及び試験を行い評価します。論文の可否は、論文内容の独創性、有用性及び考察の妥当性に加え、国際的な卓越性の観点から判断します。

本学への交通案内

J R 東海	中央本線	鶴舞駅下車(名大病院口から東へ約400m)
地下鉄	鶴舞線	鶴舞駅下車(4番出口から東へ約500m)
	桜通線	吹上駅下車(5番出口から西へ約900m)
市バス	⑬18 (栄 ←→ 妙見町)	名大病院下車(東へ約200m)

注1：⑬18は、市バスの系統番号

2：バスの運行時間は、交通渋滞により大幅に遅れる可能性があるので注意してください。



名古屋工業大学入試課

ごきそちよう
 名古屋市昭和区御器所町 (〒466-8555)
 電話 052(735)5083
 ホームページアドレス <https://www.nitech.ac.jp/>